

まちの話題

入学おめでとう！

○小学校で入学式

4月8日、9日に市内の7小学校で入学式が行われ、市全体で293人の子どもたちが入学しました。

仁比山小学校（神埼町）では、44人の子どもたちが新一年生となりました。

楽しみにしていた学校生活が始まり、希望に輝く笑顔が学校中にあふれていました。

新一年生への入学祝品として、記念樹のみみじの苗木、交通安全マスコット人形、黄色いかさなどが贈られました。



○中学校で入学式

4月9日に市内の3中学校で入学式が行われ、神崎市全体で291人の子どもたちが入学しました。

千代田町の千代田中学校では、107人が新一年生となりました。

中学校生活への期待に胸を膨らませ、引き締まった顔で入学式に臨みました。寄せられるお祝いや励ましの言葉を胸に刻んでいました。

○帽子のプレゼント

真崎通男さん（脊振町）が、子どもたちの交通安全を願い、脊振小学校の新一年生（14人）に黄色い帽子を贈りました。真崎さんは、毎年子どもたちにプレゼントされています。



中学生剣士の熱気！

3月28日・29日、神埼中央公園体育館で、神崎市長旗第20回記念全国選抜中学生剣道大会が行われました。

北海道から沖縄まで全国各地からの強豪176（男子96、女子80）チーム、約1,500人の選手、監督が参加しました。

緊張感に包まれた会場では、中学生たちの熱気に満ちあふれ息をのむような試合が展開されました。



しいたけの菌入れ体験

3月25日、せぶり保育園で佐藤等さん夫妻（脊振町）の指導により、年少児の子どもたちがしいたけの菌入れ体験をしました。

子どもたちは、実際に原木から生えているしいたけを見て不思議そうな表情をしていました。作業は、木に空けてある穴に菌を入れる作業でしたが、初めての体験に笑顔が絶えない子どもたちでした。

今から、来年秋の収穫を楽しみにしているようです。



神埼中男子ハンドボール部全国の舞台で準優勝！

第4回春の全国中学生ハンドボール選手権大会（3月26日～29日、富山県氷見市で開催）において、佐賀県代表の神埼中学校男子ハンドボール部が見事準優勝に輝きました。

初戦から、粘りの守備と速攻で、快進撃を続け、決勝では惜しくも

愛知県代表「はとり」に5点差で敗れたものの、全国の舞台で自信とたくましさを増すことができました。夏の中体連に向けて、さらに粘り強い守備とスピードを磨き、悲願の頂点を夢に頑張ってほしいと思います。期待しています！



カヌーで世界大会出場！

ロシアのモスクワ（7月31日～8月2日）で開催されるカヌー世界ジュニア選手権大会に、神埼高校の牟田口亮太さん（写真左、神埼町）と内田享佑さん（写真右、神埼町）が、日本代表として出場することが決まりました。



二人は、小学6年生からカヌー競技を始め、高校生になつてから、インターハイや国体などに佐賀県を代表して出場する中で、優秀な成績を収められたことから、今回、念願の世界ジュニア選手権出場が決定しました。世界の強豪を相手に、持てる力を十分に発揮されることを期待しています！

消防団入退団式

4月12日、神埼市中央公園グラウンドで神埼市消防団入退団式が行われました。

式典では、多年に渡り昼夜を問わず、火災などの災害から住民を守るため、消防活動に貢献された66人の退団者を代表して齋藤成利さん（神埼町）に市長より感謝状が贈られました。

また、59人の新入団員には、団長より辞令が交付され、入団者代表として小林大介さん（千代田町）が、忠実に消防の義務を遂行します。」と力強く消防団員としての誓いを述べられました。



また、式典の前には、新入団員、部長を対象に訓練が行われ、新入団員は先輩方の指導のもと、真剣な眼差しで訓練に取り組み、その姿は頼もしく感じられました。

春を感じるウォーキング

3月15日、神埼中央公園体育館前をスタート・ゴールとする神埼市ウォーキング大会（神崎市体育協会主催）が行われました。

当日は晴天に恵まれ、絶好のウォーキング日和となり、菜の花が揺れる城原川の土手など約5キロを楽しく歩くことができました。

インドネシア出身の方など多くの参加がありました。



佐賀県食育賞

3月25日、県民ホールで佐賀県食育賞の表彰式が行われ、食農教育部門で神埼地区青年農業者連絡協議会(通称4Hクラブ・船津宏介代表)が受賞されました。

4Hクラブでは、平成19年度から、自作の安全・安心な野菜を千代田町の学校給食に納入されており、ニンジン、ジャガイモ、玉ねぎなど納入品目を広げ、地産給食として「4Hカレー」を実現されました。

また、子どもたちとの交流も積極的に図るなど、食農教育に寄与されたことが評価されました。



湖入生家に本の寄贈

下村徹さん(栃木県宇都宮市在住)が、ご自身が書き上げた著書「ドナウの叫び」(ワグナー・ナンドール物語)を50冊寄贈されました。

下村さんは、「次郎物語」の著者である下村湖人の次男。「湖入生家(神崎市重要文化財・千代田町崎村)の管理活用をしている下村湖入生家保存会運営に役立てて欲しい」と自著を生家保存会に寄贈されました。

「ドナウの叫び」は、湖入生家で販売する他、神埼市の各図書館で貸し出し用として置いています。ぜひ、お読みください。

「ドナウの叫び」(ワグナー・ナンドール物語)



ハンガリー出身の天才彫刻家、ワグナー・ナンドールは、第二次世界大戦後の故国の悲劇に巻き込まれ、過酷なまでの運命をたどり、やがて日本に移り住み帰化。

その数奇な生涯を描いた伝記ですが、現在の日本人が失った精神と行動を蘇らせるような物語となっています。

「訪韓少年の習」に参加

3月25日から29日まで行われた「訪韓少年の翼」(佐賀県子ども会連合会主催)に、市内の小学生3人が参加しました。

韓国の文化を学び、様々な体験をした3人から、感想を寄せていただきました。



学年は、当時の学年です。

◆井上 彩泉さん(脊振小6年) 韓国へ行く前は不安でいっぱいでしたが、研修の間は全部の時間を楽しく過ごせました。特に、ホームステイは、一生の思い出です。

◆井上 鈴海さん(脊振中1年) 韓国での一番の思い出は、ホームステイです。韓国の人に優しくしてもらい、感激しました。全てが貴重な体験になりました。

◆内村 優太さん(脊振中3年) この研修の中で一番楽しかったことは、ホームステイです。ホームステイ先の子供とサッカーをしたり、野球をしたり、なかなか体験できないことだったので、良かったです。

交通安全に寄与

神崎市老人クラブ連合会神埼支部の女性部が、佐賀県警察本部長と佐賀県交通安全協会長から表彰を受けられました。

老人クラブ神埼支部女性部は、毎年「交通安全マスコット」を作成し、ドライバーに安全運転の呼びかけ、4月には神埼町内の3小学校の新学期児童全員に「交通安全マスコット人形」の贈呈、見守り隊など、長年の活動と功績が認められました。



無着色国産表推奨店

成富たみ店

神崎市神埼町鶴1142-1
TEL 5 2-2 6 2 2

歩く、座る、寝ころぶ
三つの心地よさ



さくらデイサービス あやべ

神崎市神埼町枝ケ里292-10 ☎0952-20-1414

介護なんでも相談受付中!

☎ 0952-20-1414

☎ 0952-20-2188

(さくら・介護ステーション神埼)

*パート看護師募集 (委細面談の上)



有料広告

有料広告

就任あいさつ



副市長 吉村 清嗣

4月17日付けで副市長に任命されました吉村でございます。

これまで41年間にわたり、神埼町、神埼市の地方行政に携わってききましたが、このたび松本市長の補佐役として重責を担うこととなり、身の引き締まる思いであります。

選任されました以上は、常に市民視線を忘れることなく、「自然と歴史と人が輝く未来都市」を目指した神埼市総合計画の着実な推進を図り、合併して良かったと市民の皆様が誇れる「元氣神埼市」実現のため、微力ではありますが、誠心誠意努力する所存でございます。

市民の皆様とともに、神埼市の発展に寄与していきたいと思っておりますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

○退任 舩津敏春（前副市長）

（在職期間：平成18年7月15日から

平成21年3月31日まで）

神埼市の礎を築く期間に在職され、神埼市発展のために寄与していただきました。

ありがとうございました。

教育指導監紹介



▲夏秋 正倫
（学校教育課）

塩井学校教育課長の後を受けて、杵島郡江北中学校より赴任いたしました夏秋です。

脊振町広滝に住んでいます。

神埼中学校（9年）千代田中学校（2年）など、これまでの教職経験を活かして、神埼市の教育振興のために微力ながら努力する所存です。

よろしくお願いいたします。

人事交流職員紹介



▲倉谷 英樹
（総務課）

神埼地区消防事務組合からの出向でお世話になります。

これまでの経験を生かし市民の皆様のお手伝いできればと思っています。

よろしくお願いいたします。

国保診療所医師紹介



▲徳富 潤 先生

このたび脊振診療所に赴任してまいりました徳富です。

診療所が住民の皆さんにとって気軽に行ける場所になるようにと努力したいと思います。簡単な健康相談でも構いません。一度診療所に足を運んでみてください。

若輩者で頼りないかもしれませんが、よろしくお願いたします。

市民の皆さまの福祉の向上のためがんばります。よろしくお願いいたします。

新規採用職員紹介



（一列目右から）

濱田 美紀（福祉課）

角 佳美（脊振・総務企画課）

岡 千寛（保健環境課）

永原 芳美（ちよだ保育園）

鐘ヶ江 幸（市長公室）

（二列目右から）

野口 宏美（脊振・国保診療所）

仁田坂 はる香（学校教育課）

樋口 裕介（千代田・産業建設課）

松永 真一郎（財政課）

野村 徳志（下水道課）

（三列目右から）

市丸 麻記（市民課）

安 邦勇（商工観光課）

篠木 大輔（高齢障害課）

久富 淳二（税務課）

◆◆◆図書館からのお知らせ◆◆◆

4月1日から、神崎市図書館となり、開館時間の延長などサービスの充実を図りました!!
神崎市図書館のホームページ(<http://library.city.kanzaki.saga.jp/>) もご覧ください。

☆市内すべての図書館の開館時間が、午後6時までに延長になりました。
☆図書カードを統一しました。市内すべての図書館で利用できます。
☆インターネット、携帯電話から検索、予約ができるようになりました。
☆市内すべての図書館で相互貸借ができるようになりました。

| 図書館名 | 開館時間 | 休館日 | 問い合わせ先 |
|------------------|------------|----------|---------------------|
| 神崎市立図書館 | 9:00~18:00 | 火曜日、祝日 | 神崎市立図書館 ☎53-2325 |
| 神崎市立図書館 千代田分館 | | 土、日曜日、祝日 | 千代田分館 ☎44-2731 |
| 神崎市立図書館 脊振分館 | | 日曜日、祝日 | 脊振分館 ☎59-2048 |

ほんとおすすめな本



『江戸しぐさに学ぶ
子どもの「作法」』
越川 禮子 著
PHP出版
江戸と現代のマナーを比較しながら、子どもが読んで楽しく学べる本です。



『望郷の道』
北方 謙三 著
幻冬舎
一代で菓子会社を作り上げた曾祖父母をモデルに、明治の日本が持っていた成長へのひたむきな情熱を描いた本です。

○とき 5月23日(土)
午後2時から2時半まで
○ところ 神崎市中央公民館
2階 和室
○対象 幼児から小学生
○図書館のおはなし会

○自主サークルのおはなし会

| サークル名 | とき | ところ | 問い合わせ先 |
|--------|----------|-------------------|-------------------|
| きらきら | 5月13日(水) | 神崎市中央公民館 2階 和室 | 嘉村 ☎52-9831 |
| マザーグース | 6月3日(水) | | 石橋 ☎090-1197-8642 |

○読書会

| | とき | グループ名 | 書名 | 著者名 | ところ | 問い合わせ先 |
|----|--------|-------|---------------------|-------|------------|-------------|
| 5月 | 8日(金) | 若菜会 | 天の夜曲 | 宮本 輝 | J A 西郷支所 | 境 ☎52-9934 |
| | 12日(火) | 山王会 | 西鶴の感情 | 富岡多恵子 | J A 仁比山支所 | 坂井 ☎53-0741 |
| | 15日(金) | | 新樹会 | 秘花 | 瀬戸内寂聴 | 神崎市中央公民館 |
| | 27日(水) | よしのこ会 | 今わの際に言うべき -大事はなし | 山田風太郎 | 千代田町福祉センター | 吉田 ☎44-2502 |

神崎市中央公民館

土曜の夜のミュージックタイム

土曜の夜は、音楽でくつろぎませんか!
5月は、「管楽アンサンブル」で楽しんでいただきます。

[出演者から一言]
フルート2名、オーボエ1名、クラリネット2名の小さなアンサンブルグループです。
様々な表情のある各楽器の音色をお楽しみください。

親子で、ご家族で、また、お友達とお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください!(入場無料)

○とき 5月9日(土)
19:00~20:00
○ところ 神崎市中央公民館
ロビー
○内容 管楽アンサンブル
「千の風になって」「涙そうそう」
「ノクターン」「エンターティナー」
○出演者 めじろ組

◎問い合わせ先 神崎市中央公民館 ☎53-2325

市では、市民の主體的な参画によるまちづくりを推進していくため、市民の自主的かつ公益性のある活動を行う団体に対して、補助金を交付し、支援をしています。今回は、昨年度、当該事業の認定を受けて実施された「郷土と自然を親しむ会」の活動内容を紹介します。

「自然体験教室」

郷土と自然に親しむ会
(代表 藤永 正弘)

当会は、次世代を担う子ども

たち及び大人たちが好奇心と感動をもって、郷土の生い立ちや自然に触れ、ふるさとの将来を考えるきっかけ作りとして、夏と秋の年2回にわたって、自然体験活動を実施しています。

今回は8月と10月に、市内の小学生や大人を含め約60名の参加があり、脊振の溪流に入り、



100円宅地定住者募集

旧脊振村で行っていた「ふるさと定住宅地造成事業」を引き続き実施します。

今回、造成工事が完了しましたので、新たな定住者を募集します。



○募集期間

5月7日(木)～6月30日(火)

○区画 9区画(1区画約125坪)

○場所 脊振町広滝字勝陣

○貸付料 1坪あたり月100円

○貸付期間

契約締結日から15年間

詳しくは、市のホームページをご覧ください。
詳しくは、市のホームページをご覧ください。

○問い合わせ先

神崎市役所 市長公室 ☎37-0102

市営住宅入居予備者募集

既存の市営住宅において、空家が発生した場合に入居できる入居予備者を募集します。

○申込書の配布

5月19日(火)から

○受付期間

6月1日(月)から

12日(金)まで

土・日を除く

午前9時から午後5時まで

○問い合わせ先

神崎市役所 建設課

☎37-0103

千代田総合支所 産業建設課

☎44-2367

脊振総合支所 産業建設課

☎59-2111

住宅用火災警報器を補助します

消防法の改正により、佐賀県内の既存住宅では平成23年5月31日までに火災警報器の設置が義務づけられています。

普及促進を図るため、市において、65歳以上の一人暮らしの方や65歳以上の高齢者のみの世帯で、所得税非課税の方を対象に、申請の受け付けを行っています。

○問い合わせ先

神崎市役所 高齢障害課

☎37-0111

◆火災警報器の購入について

住宅用火災警報器は、大きく分けて、電池を使うタイプと家庭電源を使うタイプがあります。設置する場所は、各寝室と階段部分などの天井や壁となります。特に既存の住宅は、部屋の配置と電源の位置を考えて選びましょう。

購入の際は、日本消防検定協会鑑定



マーク(NSマーク)がついているものをお勧めします。

○問い合わせ先

神崎地区消防本部 予防課

☎52-3291

くらしの安全安心情報

訪問販売トラブル

火災警報器の悪質商法にご用心!

ここがポイント!!

公的機関などの職員が、火災警報器の販売や、特定の業者に委託することはありません。契約を急がせる業者は、要注意です。

住宅用火災警報器はホームセンターなどで、通常1台6千円から1万円程度で販売されています。

少しでも「おかしい」と思ったら、家族や市役所に、すぐ相談してください。

○問い合わせ先

神崎市役所 商工観光課

☎37-0107

困ったときは すぐ相談!

○相談時間 9:00～16:00
土・日・祝日も相談を受け付けています。

○問い合わせ先

佐賀県消費生活センター
(佐賀県くらしの安全安心課)

☎24-0999